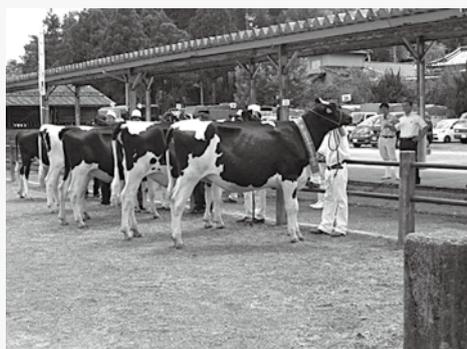


庄原地区共進会

8/31 庄原家畜市場



(表彰台に乗る前谷氏：中央)



(序列審査の様子)

グランドチャンピオンに前谷隆博氏 県共出品牛4頭決定!!

第5回庄原農協子牛共励会・第5回庄原農協畜産共進会が庄原家畜市場(庄原市戸郷町)を会場に行われた。

乳牛の出品は1区9頭、2区6頭の合計15頭。1区の首席には赤木猛氏、2席に庄原実業高校、2区の首席は前谷隆博氏、2席は和田慎吾氏の所有牛がそれぞれ選ばれた。グランドチャンピオンは前谷隆博氏の牛に決定した。

この結果をもって県共進会には前谷氏、和田氏、赤木氏、庄原実業高校の4頭の出品が決定した。審査員の四宮将和氏(岡山家畜改良事業団)は、審査発表の際「出品牛は良い牛が多かったので審査に悩んだ。中でも、上位に選ばれた牛は非常に高いレベル」とコメントを述べられた。

福山地方酪農協議会

9/1 広酪福山倉庫

福山地方酪農協議会(山本芳紀会長)は、県共進会の予選を兼ねた巡回審査によって、山本陽一さんの所有牛を県共出品牛として選抜した。

審査団は東部畜産事務所、福山市と府中市、協議会役員、広酪で構成し、八月二十四日、管内八戸の農家を巡回審査し、その公表を九月一日に広酪福山倉庫にて行った。

当日は組合員、関係機関、行政からの出席があり、隅屋寒三専務(広酪)から仔牛の部で優秀賞に輝いた山本陽一さんに表彰状が授与された。

表彰後は飼料メーカー、薬品会社等の関係者も加わり、親睦を深めた。



優秀賞に山本陽一さん
福山地方畜産共進会

三原市酪農振興会

9/5 三原市大和支所

楨元さん初の県共出品

三原市酪農振興会(新舎和久会長)は、県共出品牛を選定するため、振興会役員、東部畜産事務所、三原市、広酪で巡回審査を行い、1区の楨元昌富氏の所有牛を優秀牛と選定し、県共進会への出品を決めた。

楨元さんは「初めての出品ですので、皆様のご協力をお願いします」と挨拶された。

第四十一回通常総会開催

芸北酪農部会(斉藤正和部長)は、第四十一回通常総会を開催した。斉藤部長は「東北の震災に一日も早い復興を願わずにはいられない」と挨拶。上程した平成二十二年度事業報告及び収支決算報告、平成二十三年度事業計画(案)及び収支予算(案)、賦課金徴収方法を審議し、何れも可決承認した。

来賓として出席した隅屋寒三専務(広酪)は『大震災に対して広酪としても義援金等の支援を行った。中期計画では「育つ酪農経営」、「育つ後継者」、「育つ育む新規就農者」を掲げ「夢の実現3S」に取り組み。後継牛対策では生産基盤強化対策として県産の後継牛の保留率向上のために預託強化と牧場取得を検討したい。哺育から育成まで組合が一貫して事業展開を図ることで一歩踏み出した行動をしていきたい。更に、消費者からの信頼を得るための衛生対策を万全にし、チェックシートの完全記帳、記録が必要である」と事業活動への協力を求めた。

また、表崎氏(北広島町産業建設課)は「地域プロジェクトを立ち上げ、農業振興計画を推し進めており、国は畜産振興・防疫衛生・流通・消費に対し



て力を入れ、広島県畜産協会のリース制度・資金制度についての支援があり、北広島町としても農業振興計画のもと自給飼料の増産対策を推進していきたい」と述べられた。

その後、行政や指導機関を交えた意見交換を行い、岡崎文司氏から「一年間の皆さんの健康とご多幸を願って」と乾杯の発声を行い懇親を深めた。

堆肥生産と販売に意欲を見せる！ オガクズ確保のための視察



豊平酪農振興会(泉繁樹会長)は、冬場のオガクズ等の確保から近隣にある(株)中国木材を視察。

同社は今年三月から本格稼働し、製材に伴うオガクズが二十〜三十m³/日を排出。

水分五十%との説明ではあったが、会員はさほどの水分を感じず良好とあって「耕種農家に稲刈り後の販売を行うために早速注文したい」との意見があった。

視察を終え「どんぐり村」に会場を移し懇親会を行った。組合からは最近の酪農情勢とともに、放射能汚染の牛肉が流通する中「食の安全・安心」が求められており、チェックシートは全て記帳されるよう注意喚起を促した。

雨にも負けず笑顔で親睦！ 西部管内全体でグラウンドゴルフ大会

広酪西部地区酪農連絡協議会(榎野大樹会長)は、時折激しい雨に見まわれる中、会員並びに酪農関係者相互の親睦交流を目的に会員家族を含めて百五名が参加して、西部地区交流会第十八回グラウンドゴルフ大会を盛大に開催した。

来賓の河井克行議員は「現政権はTPPに関する協議がされず大変残念である。我々自民党は断固としてTPP反対を示す」と述べられ、会員からは「頼むぞ!」「ガンバレ!」の声援が飛び交い大きな拍手が沸いた。

競技は雨のため一ラウンドのプレーで終了し、その後バーベキュー等が催され、日頃の酪農経営や来年のグラウンドゴルフ等の話題で盛り上がった。優勝者は砂子靖子氏。成績発表では、関係業者から提供された協賛品が会長から全員に手渡され、酪農家には大型扇風機六台の寄贈があり、会長や室坂議員(北広島町)、山本武組合長(広酪)が抽選にあたった。当選した三戸保さんは「早速、牛舎で使おう」と喜ばれていた。また、協議会からサプライズとして、三月末をもって退職し、現在は嘱託職員として頑張る三橋職員に対して花束贈呈があり、三橋職員は「これ

からも組合員の期待に応えられる職員として頑張ります」と感極まり涙ながらに挨拶した。

105名が参加



新組合長に石富貞美さん

会計に田邊輝之さん



口和町酪農組合(坂村宣紀会長)は、庄原市と広酪を来賓に迎え、組合員4名が出席し総会を開催。

上程議案は、平成22年度事業報告と収支決算、平成23年度事業計画と収支予算案、役員改選の3つで、何れも承認された。

役員改選では、組合長に石富貞美さん、会計に田邊輝之さんを選出した。任期は何れも2年。

活発な協議会運営に向けて協議

安芸高田市酪農連絡協議会(小笠原正臣会長)は、会員他十三名が出席して総会を開催。

小笠原会長は「宮崎の口蹄疫、東日本の大震災と毎年大きな事象が発生し、何が起るかわからない状況下にある。会員の団結は勿論のこと行政機関や指導機関と強く連携して行かなければならない」と挨拶した。

総会では平成二十二年度事業報告と決算報告、平成二十三年度の事業計画及び収支予算(案)、役員の補欠選任が上程され、全て可決承認された。

役員の補欠選任では、茅野理章監査役からの辞任の意向に伴い、泉秀利氏が残任期間一年として、監査役に就任された。

総会終了後は、阪井リーダー(県西部畜産事務所)から「搾乳における衛生面の注意事項」、寺道弘生所長(西部事業所)からは「ベッセルクリーナーによる

洗浄」など搾乳機器等の洗浄徹底を指導した。

会員からは「安芸高田市の補助金受け入れ団体としてはなく、積極的に多くの会員が参加し活動を行うべき」、「今年四月に安芸高田家畜診療所が山県家畜診療所に統合され、土日祝祭日の診療に対して『留守番電話では内容が伝えにくい』等の苦情が生じている」との指摘があった。これに対して、木下所長(診療所)は「皆さんに不便をかけないよう対処する」と述べられた。



生乳の安全・安心を諭す 頼もしい芸北つ子に期待



三浦雄平君(左から4人目)と宮本泰徳君(左から3人目)

(有)芸北ルーラル牧場(斎藤正和社長)は、北広島町立芸北中学校の職場体験として、三浦雄平君と宮本泰徳君の二名を受け入れた。

作業は、仔牛への哺乳や飼槽の掃除、餌やり(乾草)などを午前八時から午後三時まで行い、二人とも動物が好きとあって、「飼育出来ることが大変嬉しい」と意欲的に五日間の酪農実習を行った。予想外の乾草の重さに「こんなに大変とは思わなかった」と感想を述べ、また、毎日の

チェックシート記帳を見て食品の安全管理が徹底されていることに大変驚いていた。斎藤社長は「生産者が食品に対する安全性を考えることは当然のこと。これらが消費者の安心につながり牛乳を飲んでくれるんだよ」と優しく諭されていた。

八月二十三日には西部地区交流会のグラウンドゴルフ大会にも参加し、より多くの酪農家と交流し、酪農家の優しさと明るさに感動されていた。宮本君の将来の夢は消防士になることで、この職場体験を将来に活かしたいと話し、三浦君は将来のことはまだ決めていないが、この職場体験を通じて「斎藤社長の優しさとかまじさを理想とした」と話した。

斎藤社長も「頼もしい若者がこの芸北にいることがとても嬉しい。今回の経験が二人の将来の糧になるよう信じている」と目尻を下げて感想を述べられた。

夏場の体細胞対策 地元獣医師との意見交換



甲奴郡酪農組合(伊達薫組合長)は、勉強会を担当する角康晴さんの企画で金子獣医師(庄原家畜診療所)を講師に迎え、「暑熱対策と乳房炎」と題した勉強会を行い、組合員十名に加え、地元家畜診療所の先生方も出席し、体細胞数について様々な要因で起こる乳房炎による経済損失を少しでも防ぐ目的で意見交換等も行った。

研修では乾乳期乳房炎の実態、黄色ブドウ球菌性乳房炎や治療効果と血中ビタミン濃度、乳房炎への今後の展望としては新型ワクチンの開発や免疫機能増強による治療で抗生物質を使用しない治療法も研究中など、大変興味深い勉強会となった。

子会社情報

子会社「山陽乳業(株)」元社長 牛島浩一様逝去 偲ぶ会がしめやかに執り行われる



広酪の子会社である山陽乳業(株)の元取締役社長 牛島浩一様(平成10年6月から平成16年6月迄在職)が去る7月4日逝去され、8月8日、山陽乳業(株)ピーアール室において偲ぶ会が執り行われた。

偲ぶ会には、親交の深かった方々が参列し、同社の木原正勝取締役社長が、故人の在りし日の人柄と功績を紹介し読経とともに参列者は焼香した。

牛島元社長は全酪連出身で、昭和50年代前半には全酪連広島事業所の所長として、県内の多くの酪農家と分け隔て無く親しく接され、ご存知の方も多し。特に、系統購買事業の推進に尽力され顕著な成績を上げられた。故人のご冥福をお祈りします。